

令和6年能登半島地震滋賀県災害支援本部
第1回本部員会議 次第

日時：令和6年1月4日（木）16時10分～16時30分
場所：危機管理センター2階 災害対策本部室

- 1 開会

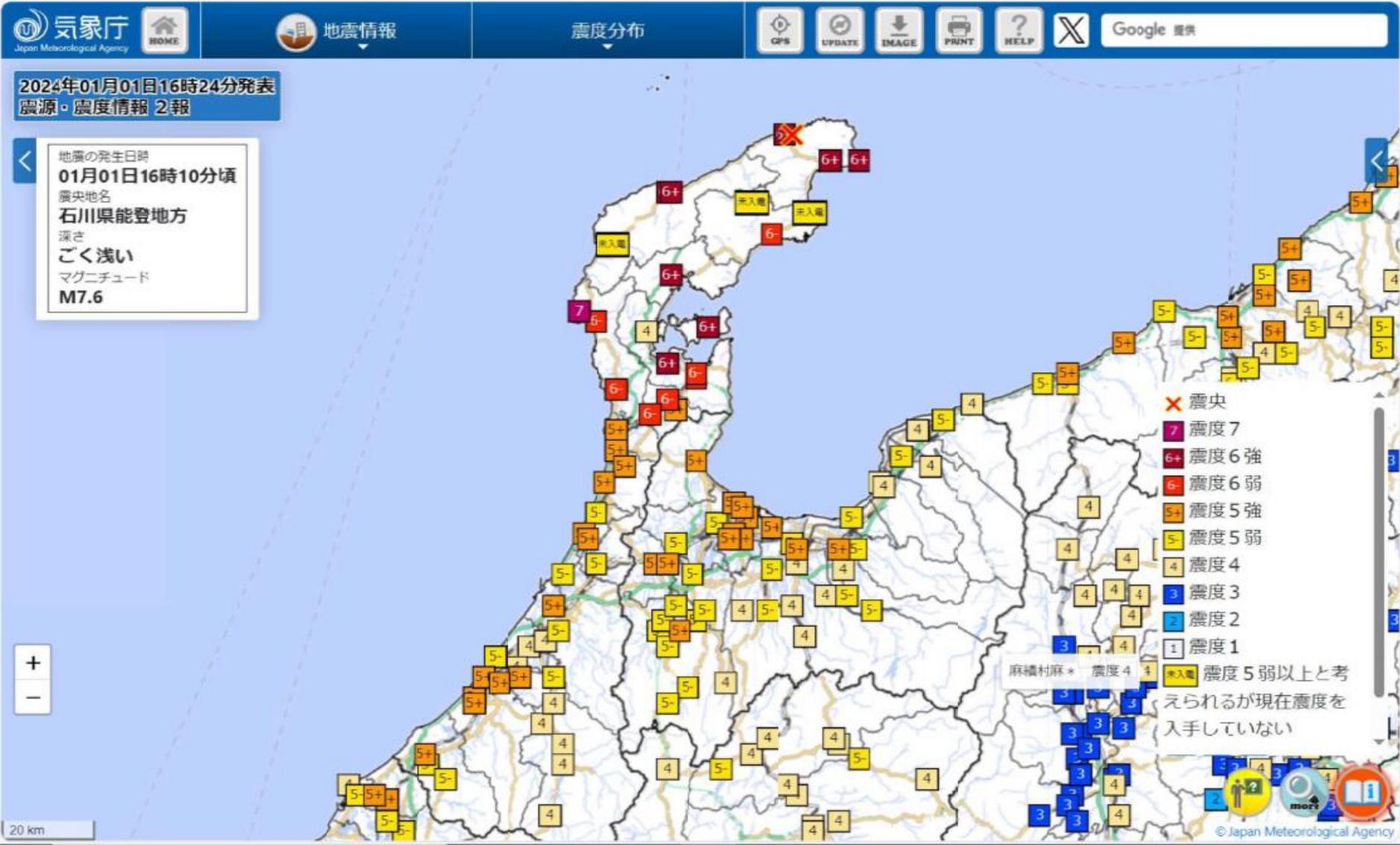
- 2 知事訓示

- 3 議題
 - (1) 被害の概要と支援状況

 - (2) 今後の対応方針

- 4 閉会

1 被害の概要



令和6年能登半島地震による被害等の状況について（危機管理監室）



【第9報 令和6年1月3日15時00分現在】

連絡先：危機対策課
(076-225-1482)

1 被害の状況（人的・建物被害）

市町名	人的被害(人)					住家被害(棟)					非住家被害(棟)		
	死者	行方不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	小計	公共建物	その他
			重傷	軽傷									
金沢市				9	9	4					4		1
七尾市	5			3	8	102					102		
小松市				1	1								
輪島市	39	確認中	9	42	90	多数	多数	多数			多数		
珠洲市	23		145		168	多数	多数	多数			多数		
加賀市												6	1
羽咋市	1			1	2	15					15		
白山市				1	1								
野々市市				1	1							1	1
川北町								1			1		1
志賀町	1		2	53	56	8	15	16	6	5	50		21
宝達志水町						1					1		
中能登町				1	1	16	5	12			33		
穴水町	2		5	23	30	17					17		
能登町	2		9	18	29	多数	多数	多数					
計	73		323		396	183		29	6	5	223	7	25

出典：石川県HP

令和6年能登半島地震による被害等の状況について（危機管理監室）



連絡先：危機対策課
(076-225-1482)

5 避難所の開設状況

市町名	開設数(箇所)	避難者数(人)	備考
金沢市	<u>16</u>	<u>111</u>	
七尾市	<u>32</u>	<u>3,521</u>	
小松市	<u>1</u>	<u>3</u>	
輪島市	<u>95</u>	<u>9,863</u>	
珠洲市	<u>21</u>	<u>6,981</u>	
加賀市	<u>2</u>	<u>12</u>	
羽咋市	<u>7</u>	<u>178</u>	
かほく市	<u>9</u>	<u>3</u>	
白山市	<u>0</u>	<u>0</u>	
能美市	<u>0</u>	<u>0</u>	
野々市市	<u>0</u>	<u>0</u>	
川北町	<u>0</u>	<u>0</u>	
津幡町	<u>5</u>	<u>78</u>	
内灘町	<u>7</u>	<u>300</u>	
志賀町	<u>15</u>	<u>2,650</u>	
宝達志水町	<u>18</u>	<u>113</u>	
中能登町	<u>10</u>	<u>600</u>	
穴水町	<u>52</u>	<u>3,828</u>	
能登町	<u>65</u>	<u>5,200</u>	
計	355	約33,441	

出典：石川県HP

2 支援状況

支援	支援先	実績	
		実人数・数量	期間
災害マネジメント 支援員等	能登町	2人	1/3～
応急危険度判定士	石川県	6人	1/3～1/6
消防	珠洲市	132人	1/1～1/3
給水	石川県内	2台/4人（県・大津市）	1/3～1/15
救援物資	七尾市他 2市3町	パンなど食品 約83,000食	1/3
警察	石川県	滋賀県警航空隊 4名（県 警ヘリによる情報収集）	1/1～1/2

今後の対応方針

令和6年1月4日

令和6年能登半島地震滋賀県災害支援本部

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」による甚大な被害を受けておられる被災地を支援するため、以下の方針により、滋賀県として総力を挙げて取り組むこととする。

- 1 被災地のニーズを最優先にして対応するため、時々刻々と変化する被災地のニーズを的確に把握し、迅速に対応すること。
- 2 被災地からの要請を待つことなく、各部局が能動的に判断し、被災地支援の準備に取りかかること。特に、配慮が必要な方々に十分目配りした支援となるよう留意すること。
- 3 被災地支援にあたっては、庁内各部局はもちろんのこと、全国知事会や中部ブロック、関西広域連合などの広域団体、市町、関係団体などと連携し、一体となって取り組むこと。

令和6年能登半島地震に係るDMAT派遣について

1月1日16時10分頃に発生した能登地方を中心とした地震について、石川県から二次隊としてDMAT派遣要請(80チーム)があり、滋賀県DMAT調整本部を立ち上げましたので、現状について報告します。

1. 派遣要請都道府県

中部ブロック※・群馬県・新潟県・滋賀県・京都府・奈良県

(※中部ブロック:富山県・静岡県・山梨県・石川県・岐阜県・愛知県・福井県・三重県・長野県)

2. 参集拠点

中部ブロック・群馬県・新潟県・滋賀県:公立能登総合病院参集拠点本部(公立能登総合病院内)

京都府・奈良県:石川中央DMAT活動拠点本部(石川県立中央病院内)

3. 活動開始日

1月4日(木)夕方から

4. 派遣予定の県内DMAT指定医療機関

・8隊42名

①市立大津市民病院(6名)

⑤公立甲賀病院(7名)

②滋賀医科大学医学部附属病院(5名)

⑥近江八幡市立総合医療センター(5名)

③済生会滋賀県病院(5名)

⑦彦根市立病院(4名)

④淡海医療センター(5名)

⑧高島市民病院(5名)

・県内DMAT指定医療機関10機関のうち、8機関がDMATとして活動

・2機関(大津赤十字病院・長浜赤十字病院)は、日本赤十字社救護班として活動

5. 経緯

1月3日(水) 14:36 DMAT事務局よりDMAT派遣要請

15:33 滋賀県DMAT調整本部設置

(本部要員として、大津赤十字病院・近江八幡市立総合医療センター・淡海医療センターよりDMAT隊員が危機管理センターへ登庁)

→ 県内DMAT指定医療機関の出動調整開始

16:24 滋賀県DMAT調整本部より、各DMAT指定医療機関へ病院長の判断で出動するよう要請

→①市立大津市民病院・②滋賀医科大学医学部附属病院・③済生会滋賀県病院・④淡海医療センター・⑤公立甲賀病院・⑥近江八幡市立総合医療センター・⑦彦根市立病院・⑧高島市民病院より派遣予定

令和6年能登半島地震の被災地へのDHEATの派遣について

令和6年1月1日以降頻発している石川県能登地方を震源とする一連の地震災害において、保健医療福祉調整本部や保健所機能を維持するため、石川県からの要請を受けた厚生労働省より本県に対し、災害時健康危機管理支援チーム(以下、「DHEAT」という。)の派遣要請がありました。

1 派遣期間 令和6年1月4日(木)～1月12日(金)の9日間
※現地における活動は1月5日(金)からの予定

2 派遣先 ・石川県保健医療福祉調整本部(石川県金沢市鞍月1丁目1)
・石川県能登北部保健福祉センター(石川県能登北部保健所)
※ただし、現地の状況によって変更の可能性あり

3 派遣人数 1班5名
医 師 (東近江保健所)
保 健 師 (長浜保健所)
薬 剤 師 (薬務課)
業務調整員 (草津保健所)
※医 師 (甲賀保健所)は1/3夜に出発済

4 現地での活動内容

石川県災害対策本部内に設置される保健医療福祉調整本部および保健所等の指揮調整機能等が円滑に実施されるよう支援を行う予定です。具体的には、保健所管内の被災状況の把握、避難所での健康管理の把握、外部からの応援者の調整(受援体制の確立)等が想定されます。

5 その他

- ・DHEATとは、平成28年の熊本地震の検証結果を踏まえ、平成29年から制度化された支援チームで、一定規模以上の災害が発生した際に、被災都道府県庁の保健医療福祉調整本部および保健所が担う指揮・総合調整(マネジメント)機能等を支援するため、専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員により構成されます。
- ・滋賀県がDHEATを派遣するのは、今回が初めてとなります。